

令和 7 年度 施策評価表

施策	1601 観光交流のまちづくり	施策担当部	商工観光部	部長	浦山 優
		施策担当課	観光振興課	課長	松尾 直紀
施策の方針	豊かな自然や歴史的・文化的な遺産等、本市の観光資源を活用し、滞在型観光やグリーン・ツーリズムの推進を図る。また、スポーツ大会などコンベンションの誘致強化に努める。				
関連するSDGsのゴール	  				

【DO（実施）】

後期基本計画（令和3年度～令和7年度）における数値目標

指標名	単位	基準値 (R1)	R3目標値	R4目標値	R5目標値	R6目標値	R7目標値	R6年度	
			R3実績値	R4実績値	R5実績値	R6実績値	R7実績値	達成率	進捗率
① 観光客数	人/年	2,080,000	2,177,000 1,640,284	2,283,000 1,822,962	2,388,000 1,985,212	2,494,000 1,961,799	2,600,000	78.7%	75.5%
② 市内宿泊施設の延べ宿泊者数	人/年	405,000	403,000 345,943	415,000 392,164	427,000 433,337	439,000 445,422	450,000	101.5%	99.0%
③ 市内民泊施設の延べ宿泊者数	人/年	555	570 3	577 17	585 96	592 10	600	1.7%	1.7%
④ 観光イベント来場者数	人/年	567,000	569,000 310,187	570,000 439,326	571,000 510,500	572,000 526,414	573,000	92.0%	91.9%
⑤									

施策達成状況の説明

- ① 「観光客数」は前年度実績を下回った。
- ② 「市内宿泊施設の延べ宿泊者数」は前年度実績を上回り、目標を達成。
- ③ 「市内民泊施設の延べ宿泊者数」は新型コロナウイルス感染症の5類移行後に、教育旅行の受入れなどの状況改善までには至らず、目標値を大きく下回った。
- ④ 「観光イベント来場者数」は目標値を下回ったものの、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴う人流の活発化や、昨年度からフルスペック開催となったおおむら夏越まつりの来場者数の増加もあり、前年度実績値を上回った。

施策経費

(単位:千円)		R6年度 決算	R7年度 予算	R8年度 見込	特記事項
内訳	事業費	67,742	49,074	50,359	
	国庫支出金	1,829	6,356	4,110	
	県支出金	1,230	1,864	1,052	
	地方債	0	0	0	
	その他	2,122	1,650	2,326	
	一般財源	62,561	39,204	42,871	
	人件費	23,732	25,870	—	
フルコスト	91,474	74,944	—		

施策の概要（細施策）

160101	歴史や自然等を活かした滞在型観光の推進	滞在型観光を推進するため、歴史・文化、自然など、本市ならではの観光資源を活用したまち歩きや体験プログラムなど、観光メニューの開発を行います。 また、新幹線開業を踏まえ、「大村市新幹線開業アクションプラン」に沿って、情報発信等のプロモーション活動や観光ツアーの企画等の観光商品づくりなどの取組を推進します。
160102	グリーン・ツーリズムの推進	本市の豊かな自然環境等を活かした魅力的なグリーン・ツーリズムを更に推進するため、関係機関と連携し、農業体験や農家民泊などの体験型観光の強化に努めます。 また、多様な外国人旅行者に対応するため、受入農家に対する支援を行います。
160103	観光イベントの充実	「おおむら花まつり」、「おおむら夏越まつり」など、イベント内容の充実を図り、観光客の誘客に努めます。 また、地域の祭りや行事などを観光イベントとして活用します。
160104	コンベンション誘致の強化	大村市観光コンベンション協会や長崎県観光連盟、長崎県スポーツコミッション等と連携し、各種会議・大会やスポーツ大会・合宿など、コンベンションの誘致強化に努めます。

【CHECK (評価) 施策担当部長】

施策を達成する上での問題点・課題

【歴史や自然を活かした滞在型観光の推進】

キリシタン関連については、韓国からのキリシタン史跡の巡礼ツアーが本格的に再開されたことから、今後も継続的な受入れを行う。
令和7年4月に開業したフォレストアドベンチャーについては、委託業者と連携してPRを行っていく必要がある。

【グリーンツーリズムの推進】

農泊などの体験型観光が国内外からの誘客を見込める重要なコンテンツとなっているが、令和5年10月30日に再開した長崎空港の国際線はグラ
ンドハンドリングの人手不足が影響し、月曜日と金曜日の週2便の長崎ー上海線、長崎ーソウル間は週3便の運航のみの運航となっており、依然と
して厳しい状況にある。このため、その後の状況の変化に対応できるよう、グリーン・ツーリズム推進協議会の事務局（シュシュ内）とのさらな
る連携が必要である。

【観光イベントの充実】

温暖化の影響で開花状況が早まっているため、今後も「おおむら桜まつり」や「しゃくなげまつり」の開催時期にあたっては、集客が十分に
見込めるよう細心の注意を払う必要がある。また、コロナ禍収束に伴い、近隣でもイベントの開催が活発になっているため、SNSを活用した積
極的な情報発信が必要である。

【コンベンション誘致】

宿泊施設の収容人数やスポーツ施設の不足など、市で解決することが困難な課題があるが、（一社）大村市観光コンベンション協会と連携し、
各種スポーツ団体や教育機関などへの積極的な誘致活動などに取り組む必要がある。

【ACTION (改善・改革)】

上記の問題点・課題を踏まえた事務事業の改善・改革や新規事業についての考え方

【歴史や自然を活かした滞在型観光の推進】

韓国からのキリシタン史跡の巡礼ツアーの大規模な再開については、オーバーツーリズムなどの問題が起こらないよう、主催者との綿密な調整
等を行い、周辺住民の方などに影響を及ぼさないよう取り組む。フォレストアドベンチャーについては、継続的なPRを行い、本市の新たな観光資
源として周知していく。点在する本市の観光資源と二次交通の脆弱性を解決するために、ワンストップで予約から移動の手配まで完結できる新た
な仕組み作りを行っていく。

【グリーンツーリズムの推進】

長崎空港の国際線の情報等に注視するとともに、「自然共生型アウトドア施設整備事業」の整備地が市北部の野岳湖公園に隣接する場所である
ことから、グリーンツーリズム推進協議会などの団体との情報共有を図りながら、農家民泊にもつながるよう取り組む。

【観光イベントの充実】

「おおむら桜まつり」や「しゃくなげまつり」の開催時期にあたっては、集客が十分に
見込めるよう、関係団体等と連携し、天候の先行きなど
開花に及ぼす影響を十分に意識した上で、決定する。また、イベントの開催にあたっての情報発信については、SNSや地域おこし協力隊を十分
に活用し、近隣のイベントとの差別化に取り組む。

【コンベンション誘致】

（一社）大村市観光コンベンション協会と連携し、誘致の可能性が高いスポーツ競技などを分析した上で、スポーツ団体や教育機関などへ対
する積極的な誘致活動などに取り組む。

令和8年度新規事業

事業名	担当課	令和8年度見込	対象・事業概要など
		事業費（千円）	
1			
2			
3			
4			
5			
		0	